

company ma 劇団「間」旗揚げ公演

主催/NPO法人 KAWASAKIアーツ



雨二モ負ケズ

構成／演出 大谷 賢治郎

2015.9.21(月・祝) 22(火・祝) 23(水・祝)

川崎市アートセンター アルテリオ小劇場

company ma 劇団「間」旗揚げ公演

雨ニモ 負ケズ

森山 蓉子

大谷 恵理子

土井 真波

大谷 賢治郎

原田 亮

古館 一也

2015年9月21日(月・祝)～23日(水・祝)

構成・演出/大谷 賢治郎

照明/鷺崎 淳一郎 (ライティング・ユニオン)

音楽/青柳 拓次

音響/坂口 野花

舞台監督/佐藤 博

制作/田事務所

宣伝美術/大谷 賢治郎、八木 克人

主催/NPO 法人 KAWASAKI アーツ

提携/川崎市アートセンター

出演

古館 一也

大谷 恵理子

原田 亮

土井 真波 (劇団銅鑼)

森山 蓉子 (劇団わが町)

21日(月・祝) 19:00

22日(火・祝) 13:00 / 17:00

23日(水・祝) 13:00 / 17:00

※開場は開演の30分前

「子どもが笑えば世界は笑う」

小さい頃、チャップリンが好きだった。コトバを使わずに伝わってくる物語。世界に通ずる「笑い」という武器。家や学校でいつも彼の真似をしていた。一方、宮澤賢治が訪ぐ不思議なコトバが好きだった。必ずしも理論的ではないコトバから見えてくる風景。聞こえてくる音。チャップリンも宮澤賢治も想像力の自由を教えてくれた。と、僕は稽古場で語り合いながら、「もしチャップリンが宮澤賢治に会っていたら」と妄想しつつ、台本のない作品づくりをしている。せっかくの旗揚げ公演、僕たちが好きなことを好きな形で伝えたい。子どもたちに。もちろん、大人たちにも。「子どもが笑えば、世界は笑う」と言う。ならば世界が笑えるように子どもを笑わせたい。そんな演劇活動ができるよう、本日 company ma はここ新百合ヶ丘を拠点にその活動を始動します。

company ma 主宰・大谷賢治郎

カンパニー“ma”のmaは、日本語表記では“間”になる。アイダとは読まない。マと読む。アイダは表現と表現のアイダで、休みである。だから幕間はマクアイと読む。マは表現の一部分で、音のない表現である。日本の芸能は、マが命だ。マが取れない、マがつかめない役者は、「間抜け」と叱られてきた。それが「間抜け」の語源である。カンパニー“ma”という命名は、だから、自分たちは決して「間抜け」にはなるまいという覚悟の表明とみた。

ふじたあさや (演出家・劇作家)

7月1日(水) チケット発売

一般: 3500 円

大学生: 2500 円

中高生: 2000 円

小学生: 1000 円

未就学児以下無料

当日 500 円増

(全席自由・税込み)

チケット予約

【web】

こりっち <http://stage.corich.jp>

劇団「間」 ticket@company-ma.com

【電話予約】

NPO 法人 KAWASAKI アーツ

TEL: 044-953-7652

(月～金 10:00～18:00)

川崎市アートセンター

アルテリオ小劇場

小田急線新百合ヶ丘駅北口徒歩3分

(新宿より小田急快速急行にて23分)

〒215-0004

神奈川県川崎市麻生区万福寺 6-7-1

TEL 044-955-0107

<http://kawasaki-ac.jp>



company ma について

演出家・大谷賢治郎と俳優・古館一也、原田亮、ダンサー・大谷恵理子によって結成されたカンパニー。様々なアーティストや研究者をゲストに迎え入れ、ノンバーバル(無言劇)、フィジカルシアター(身体表現)、子どもや青少年のための演劇、そして大人のための演劇を行なう、出入り自由な多様性を持った芸術共同体(シアターコレクティブ)を目指す。また、子どものための演劇ワークショップ、哲学ドラマワークショップ、精神障害当事者と共に行なう当事者研究ドラマワークショップなど行なう。NPO 法人 KAWASAKI アーツと提携し、川崎・新百合ヶ丘に活動の拠点を置く。

company ma 劇団「間」

〒108-0074 東京都港区高輪 2-10-15

TEL/FAX 03-3473-2848

<http://company-ma.com>

info@company-ma.com

Facebook: <https://www.facebook.com/pages/company-ma/850510488355054>

Twitter: @companyma225

Instagram: companyma225

